

P T A 会長だより 8 月号

平成 2 0 年 8 月
神宮前小学校 P T A
会長 椎名 伸吉
(nobuyoshi1228@yahoo.co.jp)

◎ 今年 4 月に入学した 1 年生は、前年比 2・4 倍で 9 年ぶりに 3 0 人台に急増し、神宮前小学校の生まれ変わりを広く知らしめました。来年 4 月に入学の新 1 年生についても、すでに多くの保護者の方から問い合わせが寄せられており、特に学区域外からの関心が昨年以上に高まっているとのことです。それを象徴するように、他区在住の保護者から越境入学したいとの問い合わせが来るまでになりました。地下鉄新都心線や、渋谷区のハチ公バスの運行開始で交通の便もさらに良くなり、各方面から通学しやすくなったのも大きなポイントです。自分の子供が通う学校が、このように注目を集めるようになるのは、嬉しくもあり、誇りに思えます。

◎ 今年 1 月に東京都が実施した『児童生徒の学力向上を図るための調査』で、問題発見能力、見通す力、応用力、表現力などで区や都の平均をかなり上回っており、一部分で課題があるにしても、大変喜ばしい結果でした。神宮前小学校の正答率は、分野によって渋谷区平均値より 1 4 % 高く、東京都全体の平均値に対しては 2 0 % 近くも高いので、改めて学力面で神宮前小学校のレベルの高さが浮き彫りになりました。

今年から算数と漢字の全校一斉テストを年に数回実施して、さらに基礎学力の向上を図る取り組みも始まりました。「学校は勉強をするところ」という、あたりまえのことがキチンとなされているのは、親として喜ばしいことに違いないでしょう。「よく学び、よく遊ぶ」元気な子供たちが、神宮前小学校でどんどん育っていきます。この子供たちの将来がとても楽しみです。

◎ 見違えるように存在感が高まってきた神宮前小学校は、2 年後に開校 8 0 周年の大きな節目を迎えます。それを前に神宮前国際交流学級開設、校舎の大規模なリニューアル、文部科学省の国立教育政策研究所と渋谷区からモデル校、研究推進校に指定。そして入学者の急増という大きな変化を続けています。

そこに加えて、8 0 周年を迎えるにあたり、制服導入が急浮上してきました。7 月の P T A 運営委員会で、保護者から制服導入の提案がなされました。これを受けて校長先生は「保護者の方々や地域の方々も交えて、前向きに検討していきたい」とのお考えを示されました。制服を導入するかどうか、導入するなら時期やデザインをどうするか、本格的に検討していくこととなります。

今や日本を代表するオシャレな表参道の街並みに溶け込むような、制服姿の神宮前小学校の子供たち。そんな光景がやがて見られるようになるかもしれません。